

# あおもり漁連

代表理事会長 植村正治 書

## 資源有限漁業無限

No.  
128



白糠漁協の秋サケ選別風景

### CONTENTS

- 青森県豊かな海づくり大会開催 ..... 1~2
- 第2回「和船競漕大会」開催 ..... 3
- ホタテ漁業振興対策について陳情 ..... 4
- 東北・北海道漁協専務参事懇談会開催 ..... 5~6
- 大臣許可一斉更新に係る海上デモ ..... 7
- 青森県定置漁業協会先進地視察研修開催 ..... 8
- ほたて供養祭・むつ湾漁業振興会通常総会 ..... 9
- 主な水産に関する動き（7~9月） ..... 10
- 県内漁協職員紹介（白糠漁協）



盛漁期を向かえた白糠漁協サケ定置網漁

# 200210

## 21世紀は漁村の時代

平成十四年度

# 青森県豊かな海づくり大会開催

「漁業の未来のため、持続利用可能な資源を回復させることと併せて、環境の美化整備による美しい漁村づくりの重要性を広く県民にアピールすることを目的として開催する」を趣旨に、平成十四年度「青森県豊かな海づくり大会」が、七月二十日（土）あいにくの雨により青い海公園から県水産ビルに場所を変更し、県内漁業関係者約二百五十人が参加し開催された。



主催者挨拶をする植村会長

「漁業の未来のため、持続利用可能な資源を回復させることと併せて、環境の美化整備による美しい漁村づくりの重要性を広く県民にアピールすることを目的として開催する」を趣旨に、平成十四年度「青森県豊かな海づくり大会」が、七月二十日（土）あいにくの雨により青い海公園から県水産ビルに場所を変更し、県内漁業関係者約二百五十人が参加し開催された。



祝辞を述べる木村県知事

最後に、古川俊大会実行委員会副会長が大会決議を朗読し、満場一致で賛同決議された。（大会決議文別記）

そのほか、実行委員会から「はまなす海岸美化協議会」へはまなすの苗木の贈呈式そして幼稚園児も参加し、ヒラメ・クロソイの稚魚放流も行なわれた。



祝辞を述べる富田県議会議長





## “第2回「和船競漕大会」開催される”



優勝の喜びを語る野牛漁協チーム

### 〈レース結果は次のとおり〉

優勝	野牛漁業協同組合(2分29秒)
準優勝	後潟漁業協同組合(2分50秒)
第3位	石持漁業協同組合
第4位	小泊漁業協同組合
第5位	野辺地町漁業協同組合
第6位	尻労漁業協同組合



スタート地点に並ぶ各参加チーム



開会の挨拶を述べる植村大会長

海洋国日本の繁栄を願う日として、平成八年に国民の祝日七月二十日が「海の日」となったことは、本県としても大変喜ばしいことである。

そこで、和船による漁業及び海上交易が盛んであった往時を偲び、小学生によるボート競技や和船とクルマガイ(車權)を使用した職場対抗競漕等を実施し、權を漕ぐ技法の伝承を図るとともに、この行事を継続的に実施することにより、青森県の夏の風物詩、伝統的な行事を育てることを目的として、県内各地から十八チームが参加し、昨年に引き続き「和船競漕大会」が去る七月二十日「海の日」に青森市青い海公園前で開催されました。

和船は、昭和三十年代ごろまで県内でコンブやエゴノリ漁などに広く使われていた木製の小船で、みちのく北方漁船博物館が収蔵していたものを使用した。

参加者は四人一チームとなり、独特のこぎ方を用する「車權」で和船を二百m走らせたが、大半が「車權」の未経験とあって船の操作が難しく、観客からは拍手や笑いが巻き起こっていた。

来年以降も引き続き、和船競漕大会が開催されますので、是非ご参加をいただきますようお願い致します。

# ホタテ漁業振興対策について陳情

欧州連合（EU）は六月二十一日付官報で、日本をホタテの対EU輸出国リストに登載した。EU向けホタテの禁輸措置解除は一九九五年四月以来七年ぶりとなる。

解除が認められたのは本県陸奥湾東部海域に限定され、実際に輸出されるのは今年十二月から翌年三月までの期間限定となる。



青森県健康福祉部へ陳情

本県の主要産業であるホタテがEUの厳しい衛生基準を満たしたことで、関係者には朗報となった。

県産ホタテのEU輸出は一九八九年には約二千六百トン、三十四億五千万円の実績があつたものの、EUは一九九五年四月から、まひ性貝毒や衛生管理対策の不備等理由に全面禁輸措置をとつていた。

近年、ホタテ漁業は増産傾向あるいは経済不況等が響き価格の低迷が続いているが、EU禁輸解除により関係者は販路の拡大に大きな期待を寄せている。



厚生労働省へ陳情



水産庁長官へ陳情

しかし、今回の解除は期間限定というところもあり、今後は陸奥湾ホタテの更なる消費拡大を目指すため、県漁連及び関係団体では陸奥湾全湾において、周年輸出が再開されるよう県健康福祉部及び厚生労働省・水産庁へそれぞれ陳情活動を行った。

陳情内容は次のとおり。

- 1 EU向けホタテガイ輸出促進について  
EUによる日本産ホタテガイの輸入禁止措置発令以来、我が国においては輸出解禁に向けて関係者が一丸となり様々な努力をしてきた結果、本年六月むつ湾東部の一部海域で期間限定で卵付き冷凍貝柱が七年ぶりに輸出解禁となりました。
- 2 機器分析の導入促進について  
これらを踏まえ、今後はむつ湾ホタテの更なる消費拡大を目指すため、むつ湾全湾において輸出が再開されると共に、周年輸出ができれば、より特段の措置を講じていただくようお願い申し上げます。
- 3 下痢性貝毒規制値の見直しについて  
また、卵付き冷凍貝柱の他、卵とり冷凍貝柱につきましても輸出ができれば、より特段の措置を講じていただくようお願い申し上げます。
- 4 現在、貝毒の検査法は世界のほとんどの国でマウス法が採用されている。マウス法は検査に長い時間を必要とし、出荷規制・解除への迅速な対応が困難であります。近年、マウス法に代わる方法として、高精度化を目的とする機器分析法の研究が多くの化学者の間で進められており、精度面や迅速性を考慮すると今後機器分析法による検査が必須になると予想されることから、貝毒検査における機器分析法が導入されるよう早急な対応をお願い申し上げます。
- 5 我が国における下痢性貝毒は、三種類（OA群、DTX、YTX）に大別されるが、現在行なわれているマウスを用いた検査方法では、三種類の毒成分が同等に評価されます。これらの事象及び種々の生化学的知見に基づいて、EUで貝毒の規制値の見直しが図られております。従って、我が国においても規制値の見直しが検討されますようお願いします。

# 平成14年度 東北・北海道漁協専務参事懇談会開催

去る八月二十九日に「東北・北海道漁協専務参事懇談会」が本県三沢市で開催されました。

この懇談会は、東北と北海道の漁協専務参事会で組織され、東北・北海道の漁協及び系統団体の専務、参事等が一堂に会し、漁業問題等に関し、各道県からの情報提供や意見交換を行うことにより、相互の研鑽を図り、もって水産業の振興と漁協経営の発展に資することを目的として毎年開催されているものであります。

主催者である青森県漁協専務参事会 川村隆会長が懇談会開催のご挨拶として「激動する漁業環境の中で、出席された方々は漁協の先頭に立つ立場、今回の懇談会の内容が今後の漁協経営にひとつでも役立つことがあれば幸いです。県外から多数の参加をして頂き感謝いたします。」と参加者への歓迎の意を表した。



主催者挨拶を述べる川村会長

加道県を代表して昨年開催地の岩手県漁協専務参事協議会・黄川田孝雄副会長が「水産物が安全で安定的な供給に貢献する重要な役割を担っている。新たな漁業・漁協を構築していかなければならない。」と挨拶をした。

来賓には青森県農林水産部 団体経営改善課 総括副参事の岩谷純一氏・三沢市助役 富田善作氏・青森県漁業協同組合連合会 専務理事 後藤亮丞氏から、それぞれご挨拶を頂いた。

基調講演には「水産基本政策に対する全漁連の取り組みについて」と題して、全国漁業協同組合連合会 常務理事 宮原邦之氏より講演をして頂き、休憩をはさんで各道県による事例発表



懇談会風景

四件と共通対策提案事項二件を発表した。事例発表

「八雲町における漁業系廃棄物の処理について」

北海道 八雲町漁協

専務理事 細川 清氏

「うへの資源管理と衛生管理について」

岩手県 種市漁協参事

下田 健一氏

「宮城県産鮮力キのトレーサビリティシステム開発と実証試験」

宮城県漁連 調査部考査役

武田 美隆氏

「尻屋崎周辺漁業環境について」

青森県 尻屋漁協参事

吉田 武美氏

共通対策提案事項

「水産系廃棄物の処理対策について」

北海道 野付漁協

専務理事 佐藤 一雄氏

「密漁等漁業関係法令違反に対する罰則強化について」

青森県漁連 指導部長

藤井 幸雄氏

特に、共通対策提案事項の密漁等漁業関係法令違反に対する罰則強化については、



事例発表をする尻労漁協の吉田参事



共通対策提案事項を提起する青森県漁連の藤井指導部長

昨年の水産基本法制定により、資源管理の意識が益々高まる中で、漁業・水産業を脅かす密漁行為が後を絶たず、漁業権管理組合も苦慮している現状が報告され、これを打開するため参加一五〇名の漁協専務・参事等の総意をもって懇談会決議を採択し、中央の関係省庁に要望書を提出することとなった。

懇談会終了後、代表者会議を開催し、次の開催場所を北海道に決定した。

交流会においては、意見交換等交流を深め、盛会のうちに終わった。

翌八月三十日には、視察研修をして十四年度の懇談会を無事終了した。

## 密漁等漁業関係法令違反に対する罰則強化に関する要望書

### 【要旨】

- 1 漁業法を改正して、漁業権の侵害及び漁業監督公務員の検査を拒み妨げ、若しくは忌避するなどをした者の罰則を強化すること。
- 2 現行の都道府県漁業調整規則を改正して、密漁に関する罰則規定を強化すること。

### 【理由】

平成十三年六月二十二日、我々漁業関係者の悲願であった「水産基本法」が、水産物の安定供給の確保と水産業の健全な発展という基本理念のもと制定されたところである。

我々漁業関係者は、国民に安全で安心な水産物を安定供給するため種苗の生産・放流事業を推進するとともに、密漁の監視、漁期の制限など資源管理を実施し、資源の維持培養に鋭意努めているところである。近年、取締機関が摘発した密漁の実態からみると、暴力団が関与した組織的密漁グループの犯行が、依然として後を絶たない状況にあり高速船・潜水器具などを駆使し、その手口も年々巧妙・悪質・広域化してい

る実情下にある。

しかしながら、密漁事犯により逮捕されても、現行の漁業法及び都道府県漁業調整規則による罰則が軽微なため、密漁未然防止及び再発防止のための効果ある抑止策となっていないものと思料されるところである。

については、あわび・うに等の磯根資源を始め、かれい・かに等の密漁撲滅を期し、より効果的な取締りを図るためにも、上記の措置を早期に講じられるよう要望するものである。

### 要望先

#### 【水産庁】

長 官	木下 寛之
次 長	川口 恭一
漁 政 部 長	白 須 敏 朗
資源管理部長	海 野 洋
資源管理部	
沿岸沖合課長	井 貫 晴 介

#### 【全 漁 連】

代表理事会長	植 村 正 治
代表理事副会長	菅 原 昭

大臣許可一斉更新に係る海上

# 尻屋崎周辺の 操業区域見直し求め！



海上デモに向かう地元漁船

下北水産振興会（下北十七漁協）は、国が八月一日施行した大臣許可の一斉更新許可で尻屋崎周辺の沖合底引き網漁業の操業禁止区域が沖合、一から一・四海里に設定されたのに対し、八月三十一日海上抗議パレードを実施し、禁止区域の見直しを求めた。

尻屋漁港で行われた陸上での抗議集会には約二百五十人が参加。川端会長（尻屋漁協組合長）は「共同漁業権内にラインを引



陸上での抗議集会（尻屋漁港）

き資源管理をしる、調整は漁業者同士でしる等、国の考えに怒りを覚える」と挨拶。参加者が「操業禁止ラインの拡大をぬれ」などとシュプレヒコールを上げた後、漁船約二百隻が大漁旗を掲げて海上に出港し、今回設定した操業禁止ラインを一斉に航行し、国に対して抗議の姿勢を示した。

その後、九月に青森県及び県漁連へ要望書を提出し指導と協力要請を行った。



挨拶を述べる㈱ホクモウの堀社長

青森県定置漁業協会は、定置漁業の発展と技術向上を目的として毎年開催している研修の一環として、去る七月二十九日から三十一日までの三日間に亘って西崎義三会長他会員十二名が参加し、石川県のホクモウ株式会社を訪問した。

(株)ホクモウは、国内の漁網メーカーの中で唯一定置網の製造販売を専門に取り組んでいる。

また、門前事業所において将来の漁業を担う船頭の育成を目指した日本で唯一の研修宿泊施設を併設した研修漁場としても利用し、総合的に魅力のある模範定置網漁場

青森県定置漁業協会先進地視察研修開催

としての確立を目指している。

今回の研修は、網工場、造船所の視察、更には衛生面・安全対策の海水流動水施設、鮮魚鮮度保持対策の海水流動水施設、魚価安対策の出荷調整金庫をメインとして視察を実施した。



網工場での視察



門前漁場での乗船視察

# ほたて供養祭・むつ湾漁業振興会 通常総会

むつ湾漁業振興会など、むつ湾ほたて漁業関係者による「ほたて供養祭」が去る7月8日、青森港ほたて供養塔前でとり行われました。

今年で19回目を迎えた供養祭には、むつ湾漁業振興会三津谷会長、青森県漁連植村会長、青森県農林水産部清藤次長ら関係者約40名が参加し、近年ほたて漁業は大変厳しい状況に立たされているが、関係者が一丸となり今後もほたて漁業がより一層発展をするよう祈願し、玉串を捧げました。

この後、むつ湾漁業振興会（三津谷廣明会長）の平成13年度通常総会が青森県水産ビルで開催され、平成13年度収支決算、平成14年度の活動方針及び収支予算（案）など全議案が承認可決されました。



ほたて供養祭風景



通常総会の挨拶を述べる三津谷会長

## 主な水産に関する動き（7月～9月）

7月1日（月）	青森県さけ流通振興協会 通常総会	（青森市）
〃	青森県さけます増殖振興協会 通常総会	（青森市）
7月4日（木）	日韓・日中対策事業検討委員会合同会議	（東京都）
7月8日（月）	ほたて供養祭	（青森市）
〃	ほたて漁業振興基金 通常総会	（青森市）
〃	むつ湾漁業振興会 通常総会	（青森市）
7月12日（金）	大臣許可一斉更新に関する陳情	（東京都）
〃	ホタテ漁業振興対策についての陳情	（青森市）
7月20日（土）	第2回和船競漕大会	（青森市）
〃	青森県豊かな海づくり大会	（青森市）
7月25日（木）	ホタテ漁業振興対策についての陳情	（東京都）
7月29日（月）	青森県漁船海難防止・水難救済会 通常総会	（青森市）
7月29日（月）	青森県定置漁業協会 先進地視察研修	（石川県）
～31日（水）		
8月3日（土）	全漁協労サマースクール青森大会	（青森市）
8月20日（火）	青森県漁協組台長参事ブロック別会議	（青森市、
～22日（木）		鱒ヶ沢町、むつ市）
8月29日（木）	東北・北海道漁協専務参事懇談会	（三沢市）
～30日（金）		
8月31日（土）	大臣許可一斉更新に係る海上デモ	（東通村）
9月2日（月）	漁業者協議会	（青森市、
～4日（水）		鱒ヶ沢町、むつ市）
9月10日（火）	青森県沿岸漁業改善資金運営協議会	（青森市）
9月11日（水）	日韓・日中対策事業検討委員会合同会議	（東京都）
9月15日（日）	漁場機能維持管理事業に係る久六島の漁場清掃	（深浦町）
～16日（月）		
9月22日（日）	第3回青森県育樹祭	（岩木町）

# 県内漁協職員紹介

## ◆ 白糠漁協 ◆



白糠漁協

1. 小林 謙一
2. 管理課長
3. パソコン、パチンコ
4. おつのパチンコやには、わの貯金がいっぱいあるはずだ。なのに全然返してくれない。そして店はドンドン改装している。これはいかかなものか？



1. 西山 忠一
2. 参事
3. パチンコかもしれない
4. ビールを飲んでストレス解消



1. 相内 光哉
2. 無線局長
3. スイミン
4. ごらんの通りです。



1. 伊勢田賢司
2. 業務課長
3. 山歩き（漁連・田中さんと）
4. 山がなければ生きていけない。海がなければ金にならない。



1. 田中 鉄浩
2. 業務主任
3. パソコン、宝くじ
4. 最近白髪が…(;^\_^A



1. 西山 孝一
2. 信用課長
3. ?
4. ?



1. 東田 強一
2. 業務課
3. スポーツ
4. 特になし



1. 相内 雅勝
2. 業務課
3. う～ん？
4. 人見知りでおとなしい子



1. 澤田 優
2. 信用課
3. カラオケ、パチスロ
4. とにかくパチスロ、カラオケが大好きな元気いっぱい21才です。ヨロシクネ!!!



1. 西山 貴
2. 業務課
3. 山歩き、パチンコ
4. とにかく何でもOKです。



1. 沢田真奈美
2. 信用課
3. いっぱいあってわからない
4. お酒が大好き（大人のお酒!）でもアル中じゃないよ(^o^);



1. 東田 政子
2. 管理課
3. 特にナイモン
4. 料理にがて？いつも姪にバカにされてまーす。



東通村は、本州北東端に位置し、津軽海峡と太平洋に面しており海岸線だけでも約六十kmに及び、総面積二万九千四百ha、人口八千二百人の漁業を中心とした村です。また、漁協は八組合と市町村単位では県内一の漁協数を有しております。

見所は、下北半島国立公園尻屋崎にある尻屋崎灯台と寒立馬、ヒバの埋没林、左京沼、物見崎などがあり、東通牛、ブルーベリージャム、鮭の寒風干し、各種水産加工品などの特産物があります。

今回は、東通村の南方に位置している白糠漁協の皆さんを紹介致します。

1. 氏名
2. 担当業務
3. 趣味・特技
4. 自己PR